



# 12月えんだより

令和5年12月1日  
目黒区立菅刈保育園長

園庭では子どもたちが友達を誘い、縄ブランコや、鬼ごっこ等好きな遊びに夢中になって遊んでいます。時々強い風が吹くとキャーと言っは、色とりどりの落ち葉を見つけ秋から冬への移り変わりを感じています。

先日、きりん組は近隣の保育園に行き“かんばんの解体ショー”を見学させていただきました。かんばん一匹を目の前で見せてもらい鱗や鰓、心臓等興味深く見ていました。「朝まで生きてたんだよ」という言葉にも驚きを隠せない様子でした。その後日、ご飯とみそ汁をお当番の子が盛り付けている時に一人の子が「減らしてください」と言っていました。「いいの。大きくなれないよ」とお当番の子が言うと「そんなの信じない」と言われ泣いてしまいました。保育士が間に入り「友達に大きくなってほしいから言ってくれたんだね」と言うと、頷いていました。身体にとって食べる事が大切だということを理解しているからこそ、友達に伝えたいという強い気持ちが伝わってきました。また別の日には、自分たちで育てたほうれん草を収穫し「残ったら、うさぎ組にもあげよう」と提案してくれる子がいて、うさぎ組も喜んで「もう一回たべたい」とリクエストがかりました。「もう一回食べるにはどうしたら良いんだろう」という話になり、保育士が「また、種を蒔くことからだね」と言うと「えーまた」と驚いている子もいました。野菜を育てるためにはそれまでの時間がかかり簡単には食べられないことを改めて実感しました。それでも、保育園では給食を残してしまう事に“楽しく食べるには、どうしたら良いのか”悩んでしまう事もあります。今後は“残したってもったいない”という経験も子どもたちに感じて欲しいと思っています。子どもたちの「また食べたい」という意欲、身体とのつながりを意識する事、命を頂く感謝の気持ちが持てるよう、地道な活動ではありますがこの小さな経験が子どもたちの生きる力に繋がっていくこととして大切にしていきます。

年末、年始は家族で食事を囲む事も多いと思います。お餅を食べるといった伝統食にも触れる機会です。「おいしいね」と家族で楽しく食べることで心も身体も豊かになる機会になってほしいと思います。



## えんていつうしん

## 12月の予定

- 身体計測（幼児）
- 身体計測（乳児）
- 冬の子ども会  
（3・4・5歳児）
- 避難訓練



お芋を使って  
砂場でお料理♪



お兄さんたちと  
一緒に山づくり



3歳児は園でもお芋ほり！  
たくさん収穫できました！



### 子どもたちとの ふれあい 看護師さん編

子どもたちの健康状態を知るために各クラスを回っていると「せんせい」と駆け寄ってきて絆創膏を見せてくれたり、絵本をもって膝に座ってきたりと、可愛い姿に嬉しい思いやホッと癒されることに感謝する毎日です。発熱や体調不良の時に安心して保護者の方を待てるようにこれからも楽しい時間を子どもたちと過ごしていきたいと思っています。





## 日頃の散歩の様子を お知らせします (0・3・5歳編)



### つぼみ組 (0歳児クラス) 菅刈公園

菅刈公園までの行き帰りには、猫が歩いていると指をさしたり「にゃー」と言ったりして教えてくれます。広い芝生に着くと探索を始めます。ある日細長い枯葉を発見した子がいました。宝物のように持ち続け、振ったり引きずって歩いたりして喜びを全身で表しています。帰る時には「もっと遊びたい」という表情で保育士を見るので「お土産にしようね」と声をかけるとにっこりほほえんで自分からバギーに向かいます。保育園に帰って色々な職員に「すてきね」と声をかけられて、嬉しい気持ちを受け止めてもらい笑顔で部屋に戻りました。その日一日飽きることなく自分で見つけたその枯葉を何度も見たり触れたりしていました。

これから寒い季節になりますが、体を動かす楽しさを感じながらいろいろな発見に共感して戸外遊びを楽しめるようにしていきたいと思えます。



### りす組 (3歳児クラス) 貝塚公園

子どもたちがお土産を入れる斜め掛けバックを持ち、手をつないで貝塚公園に向かいます。「今日はどんぐりあるかな」「赤い実がほしい」「鯉起きてるかな」などの声が聞かれ、今日はこんな事してあそびたいなと考えながら楽しそうに歩いています。到着して遊んでいると「こっちにあるよ」とみんなを呼ぶ声が聞こえてきます。近寄ると「大きいどんぐりあった」「これは帽子かぶってるよ」とバックに入れて見せてくれます。保育士が葉っぱの下にあるどんぐりを見つけ、そのことを伝えると「葉っぱの下にかくれんぼしてるのかな」と枝を持ってまた探し始めていました。保育士が「もういいかい」と声に出しながら探してみると、子どもたちも「みつけた」と言いながらどんぐりのかくれんぼを楽しみました。

自然に触れ合いながら子どもたちの発見や喜びに寄り添い、自由にイメージや感性を広げられるよう関わりながら、一緒に楽しんでいきたいと思えます。



### きりん組 (5歳児クラス) 東山公園

ある日、かっぱおやじからの手紙が届き、手紙に書かれた東山公園の謎を探しに、4、5歳でグループを作り、自然の中を探検してきました。5歳はリーダー、4歳はサブリーダーとなり、カードに書かれたお題や写真を見ながら、「おばけの木の前には道があるよ。おばけの木はきつと道の近くだ」と相談しながら歩き進めたり「後ろの人がついてきてないよ」とみんなで声を掛け合い、人数を確認しながら、チームで協力し探していました。ドングリを2種類見つけるお題が難しかったのですが「ヒントカードに聞いてようか」と提案する子がいたり、シールを貼る場面では、「〇〇君がまだ貼ってないよ」とうさぎ組の子を気にかける姿もありました。シールが全部揃うと「やったー」と、みんなでやり遂げた達成感も感じられたようです。リーダーとしての役割も果たしつつ、そこには周りの友達の助けも必要です。

みんなをまとめていく大変さも感じたことでしょう。保育園生活も残り半年をきりましたが、友達や異年齢で関わり合う中で感じる気付きや学び、育ちあう姿を大事にしていきたいと思えます。

